

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第94号 令和5(2023)年11月20日発行



栃木県教育研究発表大会の申込案内

令和6年1月26日(金)、27日(土)に、令和5(2023)年度栃木県教育研究発表大会を開催します。県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究の成果等を発表します。今年度もオンライン開催(Web会議ソフト「Zoom配信」)となります。

【日程及び発表部会】

1月26日(金)	1月27日(土)
【1部】 9時50分～11時30分	【1部】 9時50分～11時30分
- 生涯学習部会 - 学校安全部会	- ICTを活用した授業づくり部会(小・中) - STEAM教育部会 - 児童・生徒指導部会
【2部】 12時50分～14時30分	【2部】 12時50分～14時30分
- 人権教育部会 - SDGsの視点からの学習活動研究部会 - 学力向上部会	【教育講話Ⅰ】 演題「GIGAスクール時代の授業改善」 講師 玉川大学大学院教育学研究科教授 久保田 善彦氏 - 教科における探究部会(高) - 特別支援教育部会
【3部】 15時10分～16時50分	【3部】 15時10分～16時50分
- 外国語教育部会 - 道徳教育部会 - 情報教育部会	- 校内研修部会 【教育講話Ⅱ】 演題「探究授業の創り方」 講師 早稲田大学大学院教育学研究科教授 田中 博之氏 - 幼小連携部会

※ 各部会の詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/r05-kenkyu/>



参加申込方法 令和6(2024)年1月19日(金)までに

- ①「栃木県総合教育センター」のWebサイトにアクセス
- ②「令和5(2023)年栃木県教育研究発表大会」のバナーをクリック
- ③  オンラインによる参加申込はこちら をクリック
- ④ 入力フォームに必要事項を入力し、参加希望の部会を選択

※ 基本的に、各自でお申込みください。(※団体で視聴する場合は、事務局に人数をお知らせ頂けると、集計上、ありがたいです。)

※ 申込みの際にメールアドレス等を入力していただきます。

※ 申込後、自動で確認メールが届きます。

※ PCやネットワーク等の環境は、各自で御用意ください。



【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(研究調査部 Tel 028-665-7204)

総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」の御案内

今年度は「子どもたちの豊かな体験活動を応援します」をテーマに、『学びの杜の冬休み』を実施します。お子様のみならず、親子でも、大人の方でも、楽しく学べる活動をたくさん用意してお待ちしていますので、是非、御来場ください。

日 時：令和 5（2023）年12月16日（土）【雨天決行】 10時～15時 （開場 9 時45分）

会 場：栃木県総合教育センター

参加費：無料

その他：基本的に事前参加申込みは必要ありませんので、直接御来場ください。

ただし、事前申込みの必要な講座がありますので、下記Webサイトで確認し、お申込みください。

また、講座によっては受付順による定員制となっておりますので、予め御了承ください。

数に限りはありますが、サンドイッチ、おにぎり等の軽食の販売もあります。

* 予定している活動 *

「ふれる」活動	「カルタであそぼ&ワクワク絵本&お気に入りブックカード」 「レッツ ボッチャ！」「スポーツ広場」「リズム楽器でアンサンブル」 「知ってる？できる？なつかしの遊び」 等
「つくる」活動	「わくわく理科実験～水の中で浮いたり沈んだり～」 「親子はり絵教室」「勾玉（まがたま）をつくろう」 「結んでバッグを作ろう！」 等
「考える」活動	「おこづかいゲームをやってみよう！」 「算数・数学パズル」 「チャレンジ釣り堀・射的ゲームで楽しもう」 等

・活動は、年齢、興味に合わせて自由に選べます。

【昨年度の活動の様子】



レッツ ボッチャ！



ひょうたんランプをつくろう



レゴブロックを動かそう！

イベントの詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog_entries/view/155/c9411869f4ab8366bd3464209054b81a?frame_id=204



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

たくさんの御応募ありがとうございました

栃木県児童生徒発明工夫展覧会

今年度は、小学校から18作品、中学校から9作品、高等学校から9作品、少年少女発明クラブから46作品、合計82作品の応募がありました。10月11日に栃木県産業技術センターで行われた審査の結果、金賞10作品、銀賞15作品、銅賞15作品が決定されました。また、10月13日～15日に開催された展覧会には、延べ400人を超える来場者がありました。

昨年度までのコロナ禍の状況からは脱したとは言えるものの、今も続くその影響等により、応募作品数は昨年度と同数程度となりました。今年度の作品は、感染対策関連の作品は少なくなり、猛暑を克服するためや学校の机のスペースを確保するためなど、自分たちの生活をより快適にしていくための様々なアイデアや工夫を凝らした作品が見られました。毎年、本展覧会は「時代を映す鏡」のように感じます。自分の発想を基に、成功や失敗を繰り返しながら試行錯誤し、徐々に形にしていく過程は、子どもたちにとって「大きな学び」につながるものです。来年度も、柔軟な発想から生み出される作品をお待ちしています。

なお、金賞を受賞した作品は、「第82回全日本学生児童発明くふう展」に出品されます。金賞受賞作品の概要を、当センターのWebサイトにて紹介する予定ですので、ぜひ御覧ください。

【金賞受賞作品】



「最強ちりとり」



「ソーラーブリーズ
ランドセル」
他8点

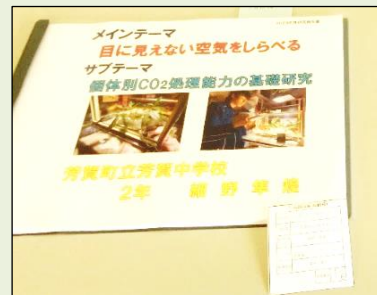
日本学生科学賞栃木県大会

今年度は、中学の部に16作品、高校の部に12作品の応募がありました。審査委員会は、栃木県総合教育センターにおいて10月5日に開催され、中・高合わせて、最優秀賞6作品、優秀賞12作品、優良賞7作品が決定しました。最優秀賞に選ばれた6作品は、今後、中央審査に出展されます。

今年度の作品は、身近な疑問や日頃の授業の学びから疑問を見いだして研究を始めたもの、部活動や個人で長年取り組んできた研究をさらに深化させたものなど、内容は多岐に渡っていました。また、探究の過程を踏まえながら実験や解析の方法を新たに作り出している作品など、様々な工夫が見られました。

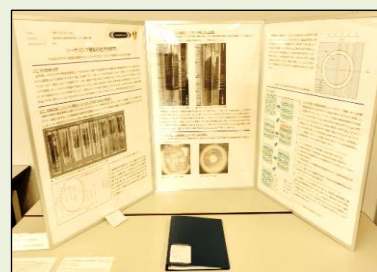
本大会を通じて生徒の皆さんには、学校の授業や身近な現象の中に隠れている謎や疑問について、科学的手法を用いて探究し、その過程の中で論理的思考を身に付け、多くのことを学んでほしいと願っています。来年度も、物理・化学・生物・地学・広領域のそれぞれにおいて、「科学を楽しむ気持ち」が伝わってくるような作品の応募をお待ちしています。

【最優秀賞・栃木県知事賞】



【中学の部】

「目に見えない空気をしらべる」



【高校の部】

「リーゼガング現象の化学的解明」

今年度の栃木県児童生徒発明工夫展覧会・日本学生科学賞栃木県大会については、右の2次元コードからもアクセスできます。11月下旬には掲載予定です。

【問合せ先】 研究調査部 (Tel 028-665-7204)

